

専修大学文学部人文学科社会学専攻 2004 年度卒業論文 (2005 年 3 月卒業)

【秋吉美都ゼミナール】

高齢者におけるマスメディア視聴について

熊谷染技術継承者育成事業

ー産地存続のためにー

現代高校生のネットワークと自己形成

ー静岡県立浜松南高等学校における参与観察ー

公共広告機構の組織運営と広告活動

ーコミュニケーション効果を重視する公共広告のジレンマー

若者の顔文字・絵文字で何を伝えるのか

ー関係の安定性と心理的負担を軸としてー

メディアと若者

ーメディアと若者の孤独感の関連性ー

広告音楽の音楽リテラシー形成について

ー音楽に詳しくない人は、広告音楽を情報源にするのかー

日常生活のうわさ

ーおしゃべりとしてのうわさと携帯電話メールからの考察ー

【宇都榮子ゼミナール】

障害児のコミュニティ参加の現状

ー幼児期の心身発達の特徴と遊び集団から考察ー

小学校における障害児教育に関する一考察

ー川崎市立 A 小学校を事例としてー

川崎市における要養護児童の実態

ー川崎市にあるファミリーグループホーム・児童養護施設の現状ー

伊勢原市の子供と遊びについて

ー創造性のある遊びの復権について考えるー

【大矢根淳ゼミナール】

<海><亜熱帯>沖縄イメージに上書きされていく“戦時の記憶”

ーまちあるき、聞き取りによる「昭和自衛隊の碑」・「ひめゆりの塔」構築プロセスの比較ー

江ノ電併用軌道沿い住民の自尊心の人間学的考察

－竜口寺周辺における散策式フィールドワークより－

マカーのお宮を巡る村落祭祀への国家統制

－南真志野区、近代化における神社整理と座間味島、戦時下における神社（御嶽）整理の経緯の比較例証－

団地コミュニティにおける青少年教育機能の変容

－西上尾サッカースポーツ少年団の事例分析－

住民投票条例案否決に至る政治・社会意識とその構造

－現・清瀬市長との往復書簡を一つの手がかりとして－

【川上周三ゼミナール】

化粧についての社会学的考察

菓子と女性の関係について

現代若者文化論

－若者の意識を中心に－

宝塚の魅力

－その社会学的分析－

日本人と宗教

女性美の社会的構成

若者の就業行動についての社会学的研究

流行と広告の関係性について

日本人の宗教は何か

【今野裕昭ゼミナール】

近代日本の宗教と政治

－国家神道を経た日本人の宗教意識－

現代の健康ブームと若者の健康意識

－若者の健康はどこへ向かうのか－

児童虐待と現代家族

プロ野球の在り方に関する考察

－企業・地域の視点から－

【柴田弘捷ゼミナール】

喫煙者のマイノリティ差別と喫煙の権利
過労死問題を考える

【嶋根克己ゼミナール】

非行からのぞく若者の実像
－変化する親密性と失われるコミュニケーション－
戦争博物館を考察する
－集合的記憶の概念から－
文化開放における日本と韓国の歩み寄り
成熟できない若者たち
－ひきこもりから見える現代の若者像－
背反する同性愛者の意識と葛藤
－循環する差別構造－
現代消費物語を紡ぐ人々

【樋口博美ゼミナール】

若者の働く意識の低下の要因
－親子間の相互依存関係から探る－
日本女性の歩んだ道
化粧が果たす役割
－なぜ女性は化粧をするのか－
ファッション流行の今後を考察する
－ファッションの流行と個性化－
ゆとり教育
－「ゆとり」から何が生まれたのか－
地域社会の安全の行方
安心できる食生活を求めて
女性をめぐる変遷する日本の結婚観
－選択的夫婦別氏制度の意義－
性別役割分業を超えた多様な生き方の実現
－男性の家庭進出－

雇用不安の中で変化する若者の就業

ーキャリア形成の入り口で立ちすくむ若者ー

晩婚化の謎を解く

ー夢を追わせ夢をあきらめさせる日本社会ー

「結婚」という制度は必要かを考える

【広田康生ゼミナール】

テレビドラマの構造と現代社会との関係について

現代メディアスポーツにおける問題点

ー近代夏季オリンピックとサッカーワールドカップに焦点を当ててー

フリーター増加とそれに伴う社会的影響

現代の食への意識と食生活の現状

ーライフスタイルの変化とジェンダーの視点からー

日本人と在日韓国、朝鮮人

ー新しい民族関係の視点を求めてー

韓国人留学生のアイデンティティ

ートランスナショナルな生き方と韓国人意識ー

ジーンズから見る社会変化

新規就農者から見えてくるもの

新しい家族の形態に関する意識

消費者に到達する広告表現技法の体系化

第2・3世代マイグラントの“同化”の現在的位相

ーナショナルとトランスナショナルの狭間でー